

Chris Bray クリス・ブレイ

北極探検家、セイラー、カヤッカー、ハイカー

「ほとんどの専門的遠征用ギアは持ち帰ったら、次の遠征まで使用することはありません。しかし、その点、アイスブレイカーは違います。北極での過酷な遠征において、58日間耐えた抜いたウエアを、シドニーでも毎日使っています。冬は暖かく、夏は涼しく、軽量で、柔らかく、耐久性もあり、しかもスタイリッシュ。とにかく素晴らしいです。」



2005年、Chris Brayは、友人のClark Carterと一緒に挑んだ、ビクトリ島での初の世界探検遠征において、58日間ずっとアイスブレイカーを着ていました。250kgもある手作り車輪付きカヤックを引きずったり、漕いだりしながら、北極クマや北極オオカミの視線を浴びながら、大部分が未だ探検調査されていないこの島の300kmを横断しました。Chrisは、The Explorers Club (www.explorers.org) と The Society for Human Performance in Extreme Environments (www.HPEE.org) のメンバーとして、アイスブレイカーの必要性をよく判っています。「いつもアイスブレイカーを着ています。天気と違って、アイスブレイカーはとても信頼できるから。暑いときは涼しく、寒いときは暖かくしてくれます。数か月使用しても、かゆくなったり、臭ったりしません。」アイスブレイカーを体験して以来、Chrisは、南太平洋を横断して世界の半分をセイリングする冒険や、その他の冒険でも、アイスブレイカーを使用してきました。さらに、2008年に再度北極を訪れ、100日間にも及ぶ（支援なしの）冒険に挑んだ際も、アイスブレイカーを持って行きました。

